

行動経済学会 第11回大会 2017年12月9日(土)～10日(日)

2日目: 12月10日(日)

		A会場 (RY405教室)	B会場 (RY406教室)	C会場 (RY407教室)	D会場 (RY408教室)	E会場 (RY409教室)
10:00~12:15 135分 一般報告セッション	セッション名	一般報告	一般報告	一般報告	一般報告	一般報告
	座長	医療・労働 大竹文雄 (大阪大学)	ゲーム・実験 上條良夫 (高知工科大学)	社会資本・社会嗜好 會田剛史 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)	ファイナンス③投資 新聞三希代 (同志社大学)	認知能力 山村英司 (西南学院大学)
	報告題名	治療困難な糖尿病患者の血糖コントロールに関する行動経済学的要因分析	嘘と効率性: 実験による分析	ソーシャルキャピタルと行動変容 - スポーツの社会的価値-	債券投資家の予想利回りカーブの期間構造と債券市場の関係性	推論ストラテジーの多様性がもたらす集合知: 計算機シミュレーションを通じた分析
	報告者	江本直也 (日本医科大学)	佐々木俊一郎 (近畿大学)	八木匡 (同志社大学)	吉田知絃 (京都大学大学院)	藤崎樹 (東京大学大学院)
	討論者	山根承子 (近畿大学)	田口聡志 (同志社大学)	瓜生原葉子 (同志社大学)	岡田克彦 (関西学院大学)	亀田達也 (東京大学)
	報告題名	乳がん検診受診行動と乳がん関連ヘルス・リテラシーの関係性に関する研究	Cooperation in prisoner's dilemma by letting bygones be bygones: an inter-generational experiment	Eliciting Guilt Sensitivity to Predict the Real-World Behavior	富裕層の資産ポートフォリオ選択 - 企業家, 企業家以外の富裕層, 一般層の意識・行動の違いを中心に-	人工知能等の新しいテクノロジーを活かす能力とは何か 自己変化能と情報提供・働き方の変化に対する態度に関するアンケート分析
	報告者	平井啓 (大阪大学)	段杰一 (大阪府立大学)	庄司匡宏 (成城大学)	宮本弘之 (埼玉大学大学院)	久米功一 (東洋大学)
	討論者	木成勇介 (九州大学)	竹内あい (立命館大学)	川越敏司 (はこだて未来大学)	新井啓 (明海大学)	山本勲 (慶應義塾大学)
	報告題名	子どもの性別が親の政策支持・価値観に与える影響	Which determines "Dictating the Risk", risk preference or social image? -Experimental evidence-	アンケート調査によるコミュニティの状態測定方法に関する研究	男性現役世代の据置年金への嗜好: 選択型実験法を利用した検証	認知的持久力の国際比較
	報告者	湯川志保 (帝京大学)	尾崎祐介 (大阪産業大学)	孫明超 (上智大学)	北村智紀 (株式会社ニッセイ基礎研究所)	林良平 (東海大学)
	討論者	大垣昌夫 (慶應義塾大学)	筒井義郎 (甲南大学)	會田剛史 (日本貿易振興機構アジア経済研究所)	黒川博文 (同志社大学)	加藤健太郎 (ベネッセ)
		RY104教室	B会場 (RY406教室)			
12:15~13:00 45分		ランチタイム+ポスターセッション(奇数番号)	新理事会			
		RY104教室				
13:00~13:45 45分		ランチタイム+ポスターセッション(偶数番号)				
		RY103教室	RY102教室			
14:00~15:15 75分	テーマ	英語特別セッション	一般向け教育セッション			
	座長	依田高典 (京都大学)	池田新介 (大阪大学)			
特別セッション・一般向け教育セッション	報告者	「Procrastination and Learning Self-Control」 室岡健志 (大阪大学)	「実験から読み解くヒトと人の社会」 犬飼佳吾 (大阪大学)			
		RY103教室				
15:30~17:00 90分		特別講演				
	座長	大垣昌夫 (慶應義塾大学)				
特別講演	講演者	「Belief-Based Utility」 Matthew Rabin (Harvard University)				
		RY409教室				
17:00~17:50 50分		行動経済学会奨励賞選考委員会				